

私達が行った被災地支援の報告

3月11日の東日本大震災から早くも半年が経ちました。残念ながら今だに保護されていない被災動物たちも多く、また保護された被災・避難動物たちに対する救援活動も人手・資金とも十分とはいえない状況が続いています。芦屋動物愛護協会では、被災地で動物たちの救援活動にあっている組織・団体を支援するため、ホームページなどでその活動状況を確認し、支援先を選定しました。現在必要とされている物資についての問い合わせも行い、出来るだけ各団体の希望に沿った支援を行いました。会員の皆様、一般市民の皆様から寄せられたご寄付や6月に行ったバザーでの売上の一部とバザー会場での募金を合わせ総額24万円を被災動物のための支援金と支援物資購入資金として使わせて頂きました。被災地の動物たちが、一日も早く温かい家族のもとで平穏な暮らしを取り戻せますように!ほんのささやかな支援ではありますが、日々現地で活動されている団体の方々や被災された皆様のお役に立つことを願っています。

支援内容

第一次支援物資の発送(3月下旬)

■NPO法人エキューブ→「4万円相当」

仙台市動物管理センターと連携して活動している団体

震災直後から被災動物の保護活動や里親探し/支援物資の運搬/情報発信など

宅急便がなんとか入れるようになった3月下旬、現場で必要な物資を問い合わせしてから準備発送

- ・バリケン特大サイズ×2台(新品)
- ・特大サイズ×1台(協会に寄付されていた中古品)
- ・中型サイズ×1台/小型犬(猫)用キャリア
- ・バリケンとキャリアの中には、犬猫フードなどの物資を梱包。



第二次支援物資発送と支援金の送金(8月下旬)

■仙台市被災動物救護対策本部→「5万円」

被災動物の救護をより効果的に進めるため、仙台市動物管理センター・(社)獣医師協会・主な動物愛護団体と協議して、臨時対策本部を設置

■石巻動物救護センター→「5万円相当」

各避難所・地区を獣医師と共に訪問診療/石巻市にシェルターを設置/一時預かりや保護動物の収容/ボランティア団体との連携

- ・犬用ペットシート
- ・猫砂
- ・穴あきバスマット(老犬用)
- ・シニア犬用フード

■NPO法人アニマルクラブ石巻→「5万円」

被災動物の現状を社会に広報し、里親探しや不妊手術の協力体制と救援活動

■福島県警戒区域内動物救援獣医師チーム→「5万円」

警戒区域内の動物を保護・救出し、飼い主と動物の救済と無秩序な繁殖防止と伝染病蔓延防止対策

大災害に備えて考えておきたいこと

【飼い主の心構え】

- 個体識別(首輪に迷子札/念のためにマイクロチップも)
- 狂犬病予防注射/混合ワクチン接種/フィラリア予防の徹底
- 不妊手術(今回東北で収容されたメス犬の多数が妊娠していた)
- 常備薬の確保(持病のあるペットについては薬の名前を憶えておく)
- 首輪とリードの確保
- 基本的なしつけをしておくこと

【基本的なしつけ】

- 呼び戻し(名前を呼べば戻って来ること)
- 誰でも体や首輪に触れるように馴らしておく
- 無駄吠え・咬みつき癖がないこと
- 排泄のコントロール(指示された場所で排泄出来る/むやみにマーキングをしない)
- ハウストレーニング(いつでもケージの中に入って大人しく出来る)
- 食べ物について好き嫌いをさせない(食べ慣れたフードでなくても平気)

児玉小枝さんのフォトエッセイ集

「同伴避難～家族だから、ずっといっしょに～」(日本出版社刊/1200円)

福島第1原発事故による避難区域から、新潟県内の避難所にペット同伴で避難して共に生活しておられる10組の家族の姿や、原発事故発生当初に起きていた状況を伝え、人とペットとの絆の深さ、災害時に家族の一員であるペットを連れて避難することの大切さを訴えています。

■出版記念 巡回写真展のお知らせ■

<大阪>

日時: 8月22日(月)～9月18日(日)

場所: カフェ&ダイニング「magatama」ギャラリー

大阪市中央区玉造1-4-14

11:00～23:00(年中無休) 電話: 06-6765-8911

<兵庫>

日時: 9月21日(水)～10月21日(金) (9/24～26、10/2・9～10の6日間は休催)

場所: ギャラリー・サヤ 西宮市今津山中町7-22

10:00～18:00 入場無料 電話&FAX: 0798-34-2039

最寄り駅: 阪神電鉄「久寿川」「今津」両駅より徒歩3分

